



2023年8月10日

各 位

会 社 名 ニューラルグループ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 重松 路威  
(コード番号：4056 東証グロース)  
問 合 せ 先 取締役 CFO 種 良典  
(TEL 03-5157-2345)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備及び  
内部統制報告書の訂正報告書の提出に関するお知らせ

当社は、本日付で公表した「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」に記載のとおり、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局に提出するとともに、過年度の決算短信等についても訂正を行い、その内容を開示しております。

これに伴い、金融商品取引法第24条の4の5第1項に基づき、第5期(2022年12月期)の内部統制報告書について、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効ではない旨を記載した内部統制報告書の訂正報告書を関東財務局へ提出いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社の連結子会社であるニューラルマーケティング株式会社(以下、子会社)において、2022年12月期の決算における棚卸資産の一部過大計上と、これに伴う売上原価の過小計上が判明いたしました。

このため、当社は2022年12月期の決算を訂正し、2022年12月期の有価証券報告書及び2023年12月期の第1四半期の四半期報告書について、訂正報告書を提出いたしました。

当社グループでは、2022年2月に子会社を取得して経営統合を進めていく中で、内部統制の強化など重要な課題への対応として、2022年12月1日に新しい在庫管理システムを導入し、業務プロセスの構築を行ってまいりました。

しかし、当該在庫管理システムの業務運用において、法人向け大型商品にかかる新規案件を主として、商品管理部門担当者の業務プロセスの認識不足により、商品が出荷、設置され、顧客の検収を得たにもかかわらず、新システムにおいて払出処理を行っていなかったことが本件誤謬の直接的な要因であると認識しております。また、業務プロセスに対する経理部門の職務分掌の理解不足により商品管理部門の業務を把握しておらず、能動的なチェックが十分に機能しなかったことも要因であると認識しております。

当社は、これらの内部統制の不備が財務報告に重要な影響を及ぼしているため、棚卸資産プロセスに関する内部統制について開示すべき重要な不備に該当すると判断しました。

## 2. 事業年度末に是正できなかった理由

上記「1. 開示すべき重要な不備の内容」に記載の事実は、2022年12月期の末日後に発覚したため、当該開示すべき重要な不備を2022年12月期末日までに是正することができませんでした。

## 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、これらの開示すべき重要な不備を是正するために、以下の改善策を講じて適正な内部統制の整備及び運用を図ってまいります。

- ①在庫管理システムの業務プロセスの見直し、運用徹底のための教育訓練の実施、およびグループ一丸での継続的な改善活動のモニタリング
- ②経理部門における在庫管理専任担当者の配置および在庫管理に精通する社員の経理部門への異動によるチェック体制強化
- ③経理部門による能動的な各種資料、帳票の事前チェック及び現物調査の強化、内部統制の強化

## 4. 連結財務諸表に与える影響

上記「1. 開示すべき重要な不備の内容」に記載の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、全て訂正済みの連結財務諸表に反映しております。

## 5. 訂正済みの連結財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上